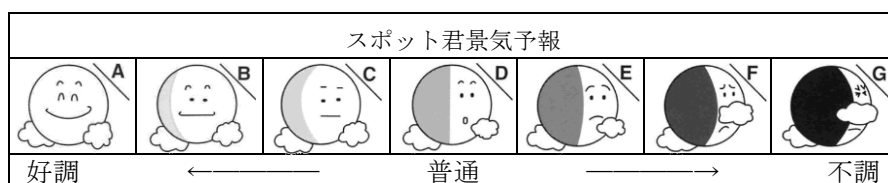


2. 目黒区内中小企業の景況（平成29年7～9月期）

（1）今期の特徴点



製造業



業況は△16.7で3.1ポイント増とやや厳しさが和らいだ。売上額は△15.3で2.3ポイント増、収益は△10.9で4.4ポイント増とともに多少改善し、資金繰りは△14.0で3.0ポイント増と若干窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は2.9ポイント増の△13.8と厳しさがやや和らぐ見込み。

卸売業



業況は△17.3で3.8ポイント減と多少低調感が強まった。売上額は△10.2で1.5ポイント増、収益は△10.6で3.5ポイント増と、ともにやや減少・減益が弱まり、資金繰りは△13.4で9.2ポイント減と大きく窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は8.0ポイント増の△9.3と大きく改善する見込み。

小売業



業況は△22.8で2.1ポイント増とわずかに悪化が弱まった。売上額は△14.8で7.0ポイント増、収益は△15.2で6.2ポイント増とともに大きく改善し、資金繰りは△21.6で4.2ポイント増と多少窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は2.1ポイント増の△20.7とやや改善する見込み。

サービス業



業況は△4.0で0.2ポイント減と前期同様変化なく推移した。売上額は△5.1で2.1ポイント増とやや減少が弱まり、収益は△5.4で8.5ポイント増と大きく持ち直し、資金繰りは△3.5で5.1ポイント増と幾分窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は0.2ポイント増の△3.8と今期同様で推移する見込み。

建設業



業況は9.6で8.6ポイント増と大きく好調感が強まった。売上額は7.2で6.9ポイント増とかなり強含み、収益は12.8で14.7ポイント増と大きく増加に転じ、資金繰りは△0.1で12.7ポイント減と窮屈感が現れた。来期の見通しについては、業況は5.7ポイント増の15.3と好感が大きく強まる見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

